

仕様書

京都市建設局伏見土木みどり事務所
(担当：木谷・杉左近 075-611-5371)

1 業務名

スプリング遊具等修繕及び鉄棒移設（小栗栖公園他）

2 業務の目的

公園利用者の安全を確保するため、老朽化したスプリング遊具等の修繕及び鉄棒を移設するもの

3 履行期間

契約締結の日から令和9年1月25日まで

4 履行場所（別紙1）

京都市伏見区小栗栖森本町 16-4 他

5 業務範囲（別紙2）

公園名	所在地
小栗栖公園	伏見区小栗栖森本町 16-4
中山田公園	伏見区小栗栖中山田町 16-25
中山田第二公園	伏見区小栗栖中山田町 26

6 業務内容（別紙3）

内容	数量	規格
小栗栖公園 スプリング遊具等修繕	1 基	CP-01403G（ゾウ） コトブキ製と同等品以上
中山田公園 スプリング遊具等修繕	各 1 基	CP-01400G（パンダ） コトブキ製と同等品以上 CP-01401G（ライオン） コトブキ製と同等品以上
中山田第二公園 スプリング遊具撤去及び鉄棒移設	撤去 2 基 移設 1 基	既設スプリング遊具 2 基撤去、既設鉄棒 1 基移設

- ※ 作業に要する寸法計測費、諸経費等の全ての費用は、本業務に含む。
- ※ 別紙の標準構造図を参考にすること。
- ※ 設置及び移設にあたっては、安全領域を確保すること。
- ※ スプリング遊具等修繕は既設遊具及び基礎の撤去、ベースアンカー等の設置を含む。
- ※ 契約後、事前に伏見土木みどり事務所の監督職員と施工時期、施工方法及び設置する遊具の安全領域等について打合せを行ったうえで、業務にあたるものとする。
- ※ 施工箇所の仕上げは、山砂舗装とする。
- ※ 撤去したスプリング遊具等、残土及びコンクリート殻は適切に処分すること。
- ※ 平日の午前9時から午後5時の間に作業を行うこと。
- ※ 業務完了後、速やかに作業完了報告書を作成し、作業前後の現況写真とともに提出すること。

7 留意事項

作業の際は、実施現場内又はその隣接敷地若しくは付近の工作物に損傷がないよう十分注意すること。与えた損害については、受注者の責任において対応すること。また、本業務で発生した事故等についても、受注者の責任において対応すること。

作業中、近隣住民、公園利用者及び通行者から要望・苦情を受けた場合及び、事故等の発生があった場合は、速やかに監督職員に連絡しその指示に従うこと。

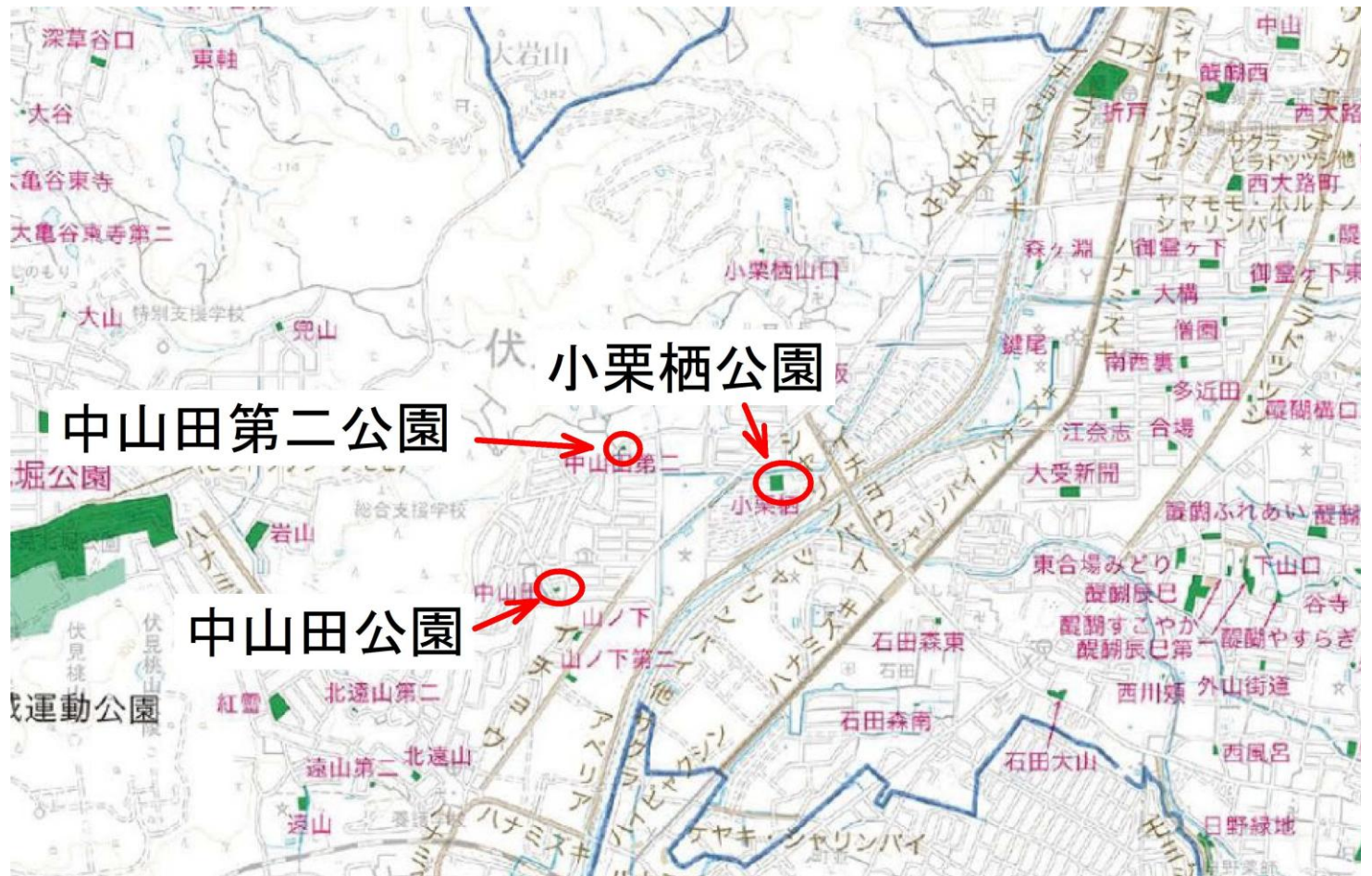
作業に必要な機材については、受託者が自ら用意したものを用いること。

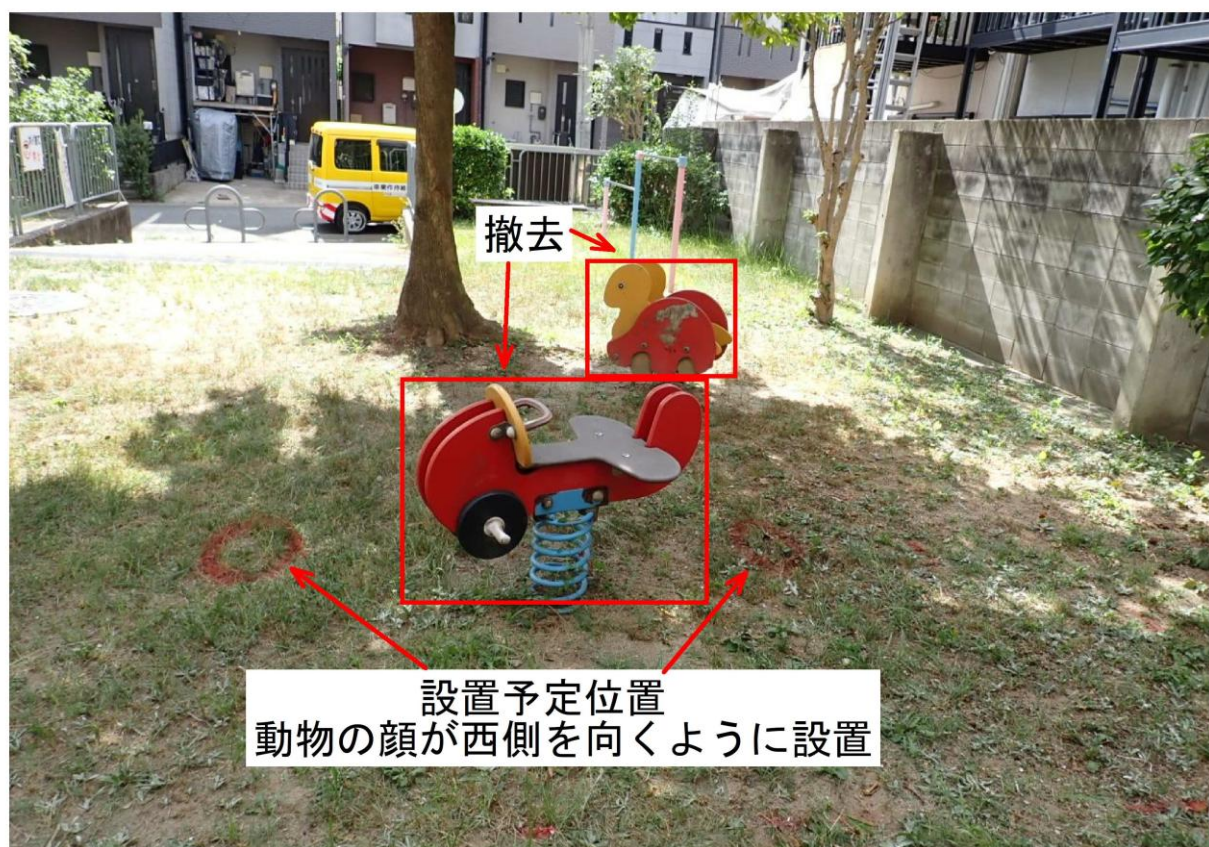
作業員には、清潔で安全な服装をさせ、受託者の職員であることを示すものを着用すること。また、本業務は、公共性が高いものであり、市民への対応（言葉遣い等）に配慮すること。

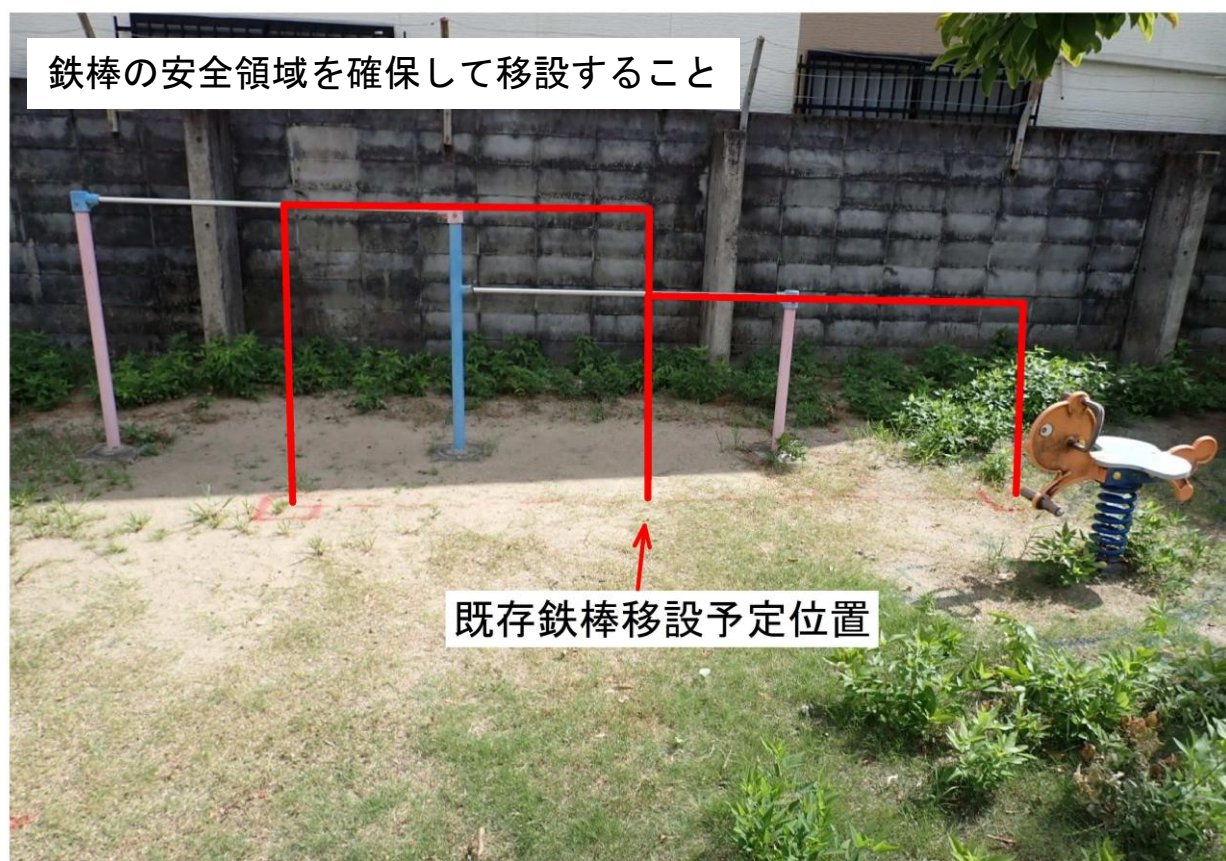
業務実施者にかかる安全管理については、受注者の責任において行うこと。

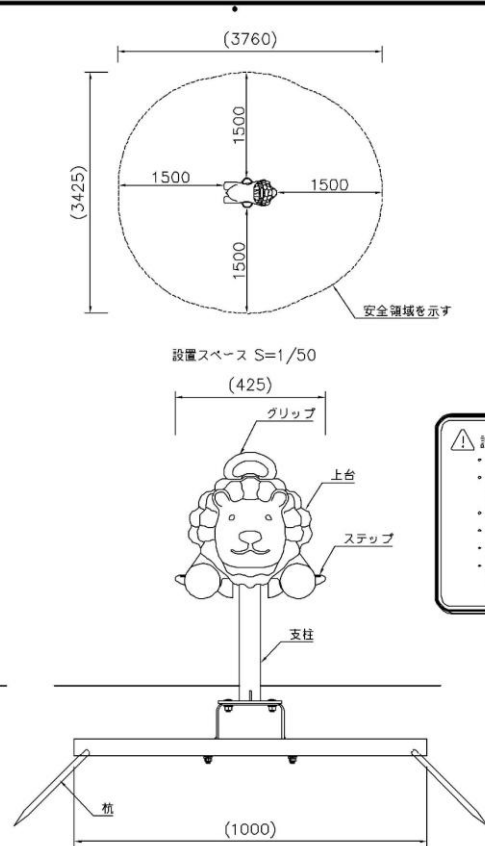
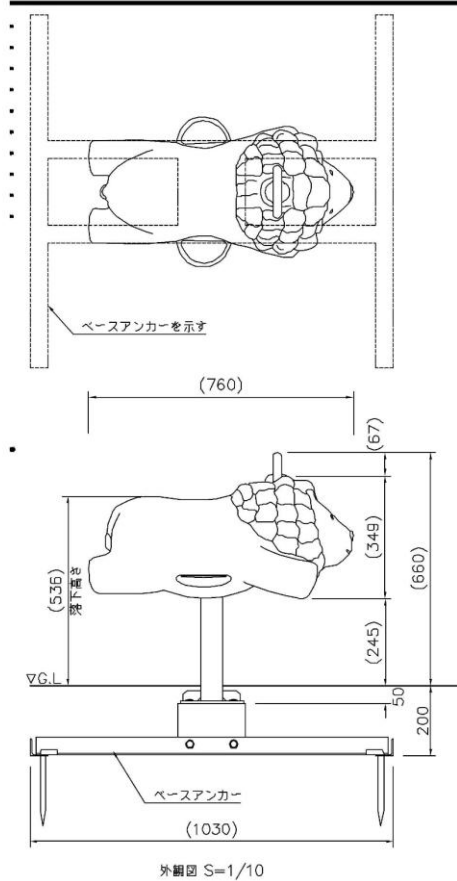
8 支払条件

業務完了後、履行場所（業務範囲）において適切に業務が履行されていることを確認のうえ、本業務に係る経費を支払う。









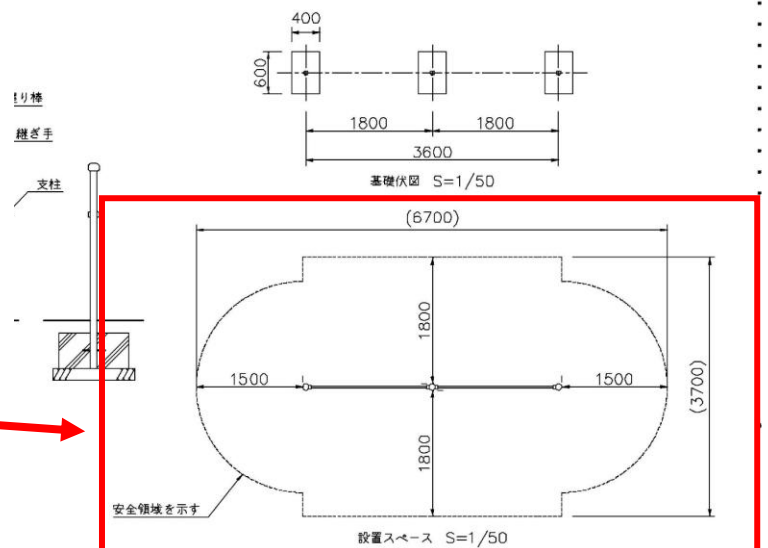
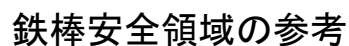
上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装
 ステップ: FRP成形品 合成樹脂塗装
 ノンスリップシート
 グリップ: アルミ合金建物 合成樹脂塗装(イエロー)
 支柱 : φ60.5×t3.8鋼管
 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装(ライトグレー)
 機構部 : マルチリンク機構 ストッパーゴム付
 ベアラー: 50×50×t4.0等辺山形鋼 溶融亜鉛メッキ
 軸 : φ16×300 L型 溶融亜鉛メッキ

質量 : 40kg

① 設置上の注意

- 設置面及び埋戻し後の土は必ず転圧機器を用いて施工すること。
- 設置後は道具を持ち上げて地表面が動かないことを確認してください。
※ 製品が動く状態での杭の抜けや転倒の恐れがあります。
- 本製品は専らスペースとしての安全確保を確実とすること。
- 本製品はおおむね3〜6才を対象にデザインされています。
- 本製品はJPF A—SP—S: 2024に準拠した製品です。
- 本製品は（一社）日本公園施設産業協会の団体加入する
公園施設団体の日本公園責任保険制度を適用します。

△	_____	K・O・T・O・B・U・K・I KOTOBUKI CORPORATION	PROJECT —		DATE 2024/04/01	SCALE 1/10	FILE NO.
△	_____		リトルポップ（ライオン・ベースアンカー）		DRAWN 中川	CHECKED 山浦	APPROVED 中村
△	_____		CP-01401G		DWG. NO. EP1352-C		
△	_____						



支柱 : φ60.5×t3.2鋼管 ハイジंक 合成樹脂塗装 (サンドベージュ)
握り棒 : φ28みがき丸棒鋼 電気亜鉛メッキ
継ぎ手 : 鉄銑物品 合成樹脂塗装 (ブルー)
根がらみ : φ9×200丸棒鋼

質量 : 47kg

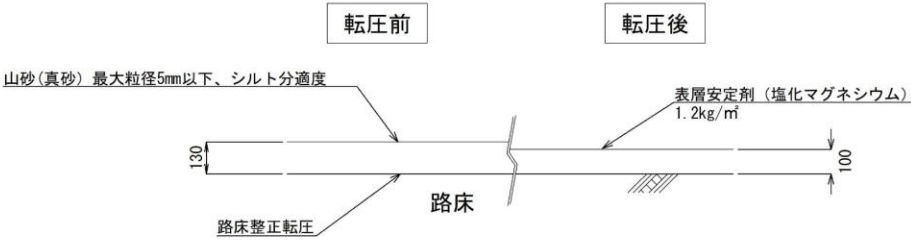
⚠ 設置上の注意

- 本製品の専有スペースとしての安全領域を確保すること。
- 落下等による危険を最少にするために安全領域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- 本製品はおむね3〜12歳を対象にデザインされています。
- 本製品はJPF A—SP—S; 2024に準拠した製品です。
- 本製品は（一社）日本公園施設建設協会の団体に加入する公園施設団体賠償責任保険制度で適用します。

 	 K・O・T・O・B・U・K・I KOTOBUKI CORPORATION		PROJECT		DATE	SCALE	FILE NO.
			2連低鉄棒 CP-00616		2025/07/30	1/30	
					DRAWN	CHECKED	APPROVED
					西村	根本	横田
			DWG. NO.		FP1257-H		

作成年月	令和 7 年 4月	図面名	山砂舗装	第 I 編	項	1 - 2	No.	2
------	-----------	-----	------	-------	---	-------	-----	---

S=1/20



仕様
 ○山砂舗装は路床(基盤)整正転圧と山砂転圧とする。
 ○表層安定剤は、山砂転圧後に均一に散布し仕上げること。
 ○表面の排水勾配は概ね0.75%とするが、やむを得ず表面勾配を1%以上にする場合は表層安定剤を
 仁尾興産株式会社ぼうじん君又は同等品以上とする。